

福岡医発第1094号(地)

平成20年 8月11日

各 医 師 会 長 殿



福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公 印 省 略)

国内の日本紅斑熱による死亡事例の発生について

宮崎市で日本紅斑熱による死亡事例が発生したことを受け、厚生労働省健康局結核感染症課より注意喚起を含めた情報提供がなされた旨、日本医師会より別紙のとおり通知がありましたのでご連絡いたします。

日本紅斑熱は、病原体を保有するマダニからの刺咬により感染するもので、西日本南部での発生が多く、一般的には、テトラサイクリン系の薬剤等で治療することにより予後良好ですが、重症化することもあり、DIC、多臓器不全などを起こして死亡することもあります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

学術担当理事 永田正和
会長 丸山 泉



(地Ⅲ121)

平成20年8月6日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

飯 沼 雅 朗

国内の日本紅斑熱による死亡事例の発生について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、宮崎市で日本紅斑熱による死亡事例が発生したことを受け、別添のとおり、厚生労働省健康局結核感染症課より、注意喚起を含めた情報提供がなされ、本会に対しても協力方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、郡市区医師会及び関係医療機関への周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。



平成20年8月1日

社団法人日本医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

国内の日本紅斑熱による死亡事例の発生について

今般、宮崎市で日本紅斑熱による死亡事例が発生しました。

つきましては医療現場において適切な対応が行われるよう、医療関係者に対する情報提供について特段のご配慮をお願いいたします。

なお、別添のとおり、報道機関に対して注意喚起を含めた情報提供を行いましたので申し添えます。

平成20年8月1日

【照会先】厚生労働省健康局結核感染症課
梅田（内線2376）、田島（内線2384）
直通：03-3595-2263

日本紅斑熱による死亡例の発生について（情報提供）

本日、宮崎市から別紙のとおり日本紅斑熱による死亡例について発表がありましたので情報提供します。

日本紅斑熱は、病原体を保有したマダニからの刺咬によって感染しますので、特にダニが多く生息する野山、畑、草むら等に出かけるときには次のことに注意が必要です。

- ① 長袖、長ズボンなどで肌の露出を少なくし、防虫スプレーを使用する。
- ② 直接草むらや地面に座ったり、衣服を置いたりしないようにする。
- ③ 帰宅後はすぐに入浴し体についたダニを落とし、新しい服に着替える。

予防と早期診断・早期治療が重要です。

疑わしい症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。

<参考>

1. 国内における日本紅斑熱の発生状況

年	感染者報告数	死亡者数
平成20年（※1）	22（※2）	0（※3）
平成19年（※1）	98	0
平成18年	49	1
平成17年	62	0
平成16年	66	2

出典：感染症発生動向調査（感染報告者数）
人口動態統計（死亡者数）

※1 平成19年以降の感染者報告数、死亡者数は概数

※2 平成20年は7月20日報告数まで

※3 平成20年は2月までの統計

2. 日本紅斑熱とは

- ・日本紅斑熱リケッチア *Rickettsia japonica* による感染症で、病原体を保有したマダニの刺咬によって感染する。
- ・主要な症状は、2～10日の潜伏期間の後、高熱、発疹、刺し口など。
- ・治療にはテトラサイクリン系抗生物質が有効。
- ・感染症法における四類感染症。

Miyazaki City News Release

【平成20年 8月 1日】

発表事項	日本紅斑熱による死亡例の発生について												
概 要	平成20年7月28日、市内医療機関から日本紅斑熱による死亡例の発生届け出がありました。 日本紅斑熱は感染マダニに刺されることでおこる感染症です。 つきましては、市民の皆様には予防に対する注意喚起をお願いします。 1. 発生状況 <table border="1"> <tr> <td>発生届出日</td><td>平成20年7月28日</td></tr> <tr> <td>病原体</td><td>リケッチア ジャポニカ</td></tr> <tr> <td>推定される感染経路</td><td>市内の山野（推定）でマダニに刺される</td></tr> <tr> <td>推定される感染日</td><td>平成20年7月10～15日頃</td></tr> <tr> <td>発症日</td><td>平成20年7月18日</td></tr> <tr> <td>症状</td><td>高熱、発疹、肝機能障害、※DIC、多臓器不全</td></tr> </table> 2. 市民の皆さんへの注意喚起 日本紅斑熱は「リケッチア ジャポニカ」という病原体に感染しているマダニ類に刺されて2～10日で発病する感染症で、高熱・発疹・刺し口を特徴とします。ヒトからヒトへ感染することはありません。 西日本南部での発生が多く、2003～2007年の間に市内では年間0～2件、県内では年間2～5件の報告がありました。 一般的には、テトラサイクリン系の薬剤等で治療することにより予後良好ですが、重症化することもあり、重症化した場合は※DIC、多臓器不全などを起こして死亡することもあります。 予防と早期診断・早期治療が重要です。疑わしい症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。 ※ DIC；播種性血管内凝固。全身に小さな血栓をつくることによる臓器障害と、顕著な出血傾向が同時にみられる状態。 3. 予防のポイント 野山や畑、草むらなど、ダニの生息場所に出かけるときにはダニに刺されないように次のことに気をつけましょう。 ①長袖・長ズボンなどで肌の露出を少なくし、防虫スプレーを使用する。 ②直接草むらや地面に座ったり、衣服をおいたりしないようにする。 ③帰宅後はすぐに入浴し体についたダニを落とし、新しい服に着替える。 皮膚に刺したダニは、潰さないように注意しながらダニの口の部分をピンセットで挟んで取り除くか、医療機関でとってもらいましょう。無理に潰すと病原体を体に注入してしまうことがあります。	発生届出日	平成20年7月28日	病原体	リケッチア ジャポニカ	推定される感染経路	市内の山野（推定）でマダニに刺される	推定される感染日	平成20年7月10～15日頃	発症日	平成20年7月18日	症状	高熱、発疹、肝機能障害、※DIC、多臓器不全
発生届出日	平成20年7月28日												
病原体	リケッチア ジャポニカ												
推定される感染経路	市内の山野（推定）でマダニに刺される												
推定される感染日	平成20年7月10～15日頃												
発症日	平成20年7月18日												
症状	高熱、発疹、肝機能障害、※DIC、多臓器不全												
担当部署	課・係名：宮崎市保健所 保健予防課 担当者：寺藺・山田 電話：29-5281（直通）、内線4242 e-mail：10yobou@city.miyazaki.miyazaki.jp												